

学校だよりNO21

令和3年9月10日

児童数 471人

薫っ子

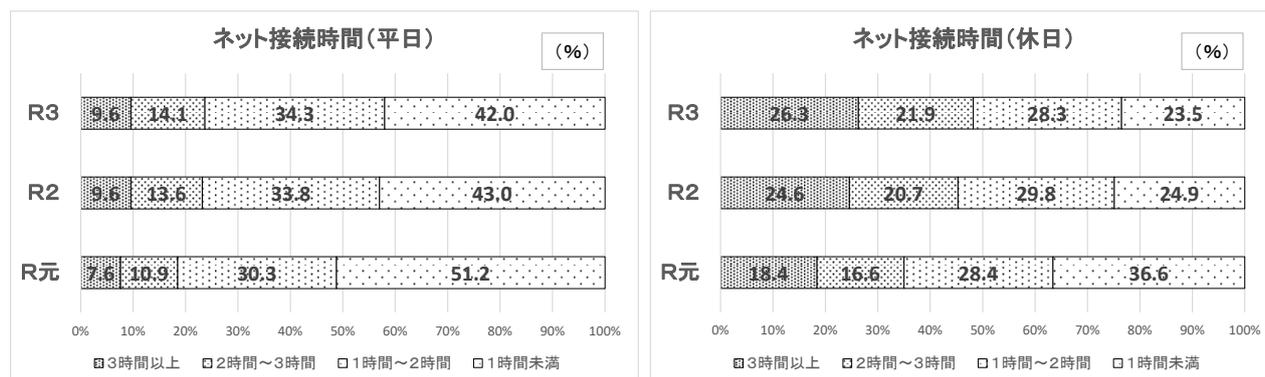


文責 校長 古川 次男

ICTの光と影

9月1日にお配りしたもので恐縮ですが、福島県小学校長会で調べた下記資料をもう一度、ご覧ください。

【家庭におけるネット・SNSの利用時間】（福島県小学校長会調べ）



- 学校に登校している平日の利用時間は、全体的に長時間利用にシフトしていることが明らかになりました。さらに、平日でも3時間以上利用している子どもは、全体の約10%もいることが分かりました。
 - 休日の利用時間もほぼ同じ結果で、平日に比べてかなり長時間化しています。3時間以上利用している子どもの割合は、平日の2.7倍を超える26.3%となっています。昨年度と比べて増加しており、長時間利用が常態化していることを裏付けています。
 - 利用時間の長時間化に伴い、「ネット依存と思われる状態になった」という子どもが増加しています。利用時間の長時間化に伴う生活習慣の乱れが懸念されます。
- ※ 本調査には学校から持ちかえったタブレット端末の利用時間は含まれていません。また、ネット・SNSの利用時間については、新型コロナウイルス感染症の影響も考えられます。



今年度の調査に本校は含まれていませんが、かなり多くの児童が平日でも3時間以上利用しているという実態に驚きを隠すことができません。3時間利用といえば、帰宅後、家庭学習やら食事・入浴等の時間をのぞいて、ほぼ全ての時間をネット利用に費やしているのではないのでしょうか？これでは、生活は乱れてしまいます。

本校でも、授業の中に積極的にタブレットを取り入れ、1年生ではアサガオの花を写真撮影しています。また、ロイロノートというソフトを使って、子どもたちの考えを共有する学習は多くの学年で実施しています。さらには、プログラミング学習などにも取り組み、思考力を育成しています。まさに、ICTの光の部分です。

一方、上記資料のような影の部分もあります。さらに中学校で問題になるのが、SNSを通じたいじめです。スマホ等の便利なものが子どもたちの周りにあるため、その恩恵である光の部分が増えますが、影の部分も多くあります。学校では、道徳教育などでモラルの育成に努めておりますが、スマホ等の使用時間・方法の確認、お声かけを各ご家庭でもお願いできればありがたいと思います。よろしくお願いいたします。



【プログラミング学習 4年生】